

(環境省23-22)

施策名	目標5-2自然環境の保全・再生				担当部局名	自然環境計画課 国立公園課	作成責任者名	塚本 瑞天 桂川 裕樹		
施策の概要	原生的な自然及び優れた自然の保全を図り、里地里山などの二次的な自然や藻場・干潟等についてその特性に応じた保全を図るとともに、過去に失われた自然を積極的に再生する事業と、自然再生に係る地域活動を推進するための支援を実施することで、自然環境の保全・再生を図る。				政策体系上の位置付け	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進				
達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ・原生的な自然環境、里地里山などの二次的な自然、干潟などの生態系を地域の特性に応じて保全、維持管理する。 ・過去に損なわれた自然について、多様な主体の参画による自然再生を行う。 ・生物多様性保全について先進的・効果的な取組を支援することで、今後の保全活動の推進に繋げる。 ・自然状況や社会状況、風景評価の多様化等の変化をふまえ、国立・国定公園の区域及び公園計画について、着実に見直しを行い、適切な保護管理を行う。 				目標設定の考え方・根拠	生物多様性国家戦略2010 自然再生推進法 自然公園法 国立・国定公園の総点検事業 生物多様性地域連携促進法	政策評価実施 予定時期	平成25年6月		
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値					測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
	基準年度	目標年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
1 自然再生協議会の数	21ヶ所	平成21年度	29ヶ所	平成24年度	29ヶ所	-	-	-	-	自然再生協議会の数は、多様な主体の参画による自然再生事業の枠組みであり、自然再生の実施状況を端的に示す指標となるため。根拠:生物多様性保全戦略2010において、「平成24年度までに自然再生事業に関する自然再生協議会を新たに8ヶ所増やすことを目指す」と定めている。
2 自然再生事業実施計画策定数	21ヶ所	平成21年度	29ヶ所	平成24年度	29ヶ所	-	-	-	-	自然再生事業の実施計画策定数は、自然再生事業を実施することによる、地域の特性に応じた自然環境や生態系の保全・維持管理状況を示す指標となるため。
3 当該年度を終期とする国立・国定公園の点検等見直し計画の達成率	-	-	100%	-	100%	100%	100%	100%	100%	国立・国定公園の保護管理を適正に行うため、公園区域及び公園計画について点検等の見直しを必要に応じて行っている。見直しを行う場合は、あらかじめ基本方針とスケジュールを含む見直しの計画を立てて行うこととしており、当該計画の着実な実施が目標の達成に最も寄与すると考えられる。 このため、当該年度を終期とする国立・国定公園の点検等の見直し計画のうち、計画のとおり実現ができたものの数が100%となることを指標とする。

4	地域連携保全活動協議会設置数	0	平成23年度	2	平成25年度	0	2	10	12	14	地域連携保全活動協議会の設置数は、地域における多様な主体が連携して行う生物多様性の保全のための活動の進捗状況を示す指標となるため。
達成手段 (開始年度)		補正後予算額(執行額) (百万円)		24年度 当初 予算額	関連する 指標	達成手段の概要等					
		22年度	23年度								
(1)	生物多様性保全活動支援事業(H20年度)(23-19)	— (目標5-1(14)に記載)	— (目標5-1(14)に記載)	— (目標5-1(14)に記載)	2	<p><達成手段の概要> 生物多様性の保全上重要な地域における法定計画の作成、法定計画に基づく実証を支援。また、世界自然遺産地域における生物多様性の保全・再生に資する地域の活動を支援。</p> <p><達成手段の目標> 国の生物多様性の保全上重要な地域における保全活動の実施</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 本達成手段は、自然再生実施計画の作成支援に加え、ラムサール条約湿地、世界自然遺産地域、自然公園といった生物多様性の保全上重要な地域の保全・再生活動を推進するものであり、施策の目標の達成に直接的に貢献。</p>					
(2)	遺産地域等貴重な自然環境保全推進費(H21年度)	108 百万円 (100 百万円)	84 百万円 (81 百万円)	92 百万円	—	<p><達成手段の概要> 世界自然遺産の既登録地・新規登録地については、植生の変化、シカの食害、外来種の影響など長期的なモニタリングを実施し、その結果を科学委員会を通じて対策に反映させる順応的な保全管理を一層充実させる。また、候補地については、世界遺産の新規登録に向けた必要な価値の整理や保全措置を講じる。</p> <p><達成手段の目標> 順応的な保全管理体制の構築(遺産地域等の適切な保全管理)</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 最新の科学的知見に基づく保全管理体制の強化などにより、遺産地域等の保全管理の質を高めるとともに、生物多様性保全の先進地域としてのモデルを示し、これにより地域の特性に応じた生態系の保全、維持管理の一層の促進を図ることができるため。</p>					
(3)	自然再生活動推進費(H15年度)	35 百万円 (33 百万円)	26 百万円 (26 百万円)	11 百万円	1、2	<p><達成手段の概要> 自然再生協議会設立の意向を持つ団体と既存協議会との意見交換、地域における自然再生のための手法の試行、自然再生に関する情報収集・提供等を実施。</p> <p><達成手段の目標> 自然再生協議会の設立に向けた事業の実施(新たな自然再生協議会の設立)</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 自然再生協議会の設立に向けた課題解消を図るとともに、自然再生の具体的な取組に関する情報を広く提供することは、新たな協議会の設立に直接的に寄与。</p>					
(4)	里地里山保全活用行動推進事業費(H23年度)(H22以前:SATOYAMAイニシアティブ推進事業費)	91 百万円 (83 百万円)	91 百万円 (90 百万円)	24 百万円	—	<p><達成手段の概要> 保全再生の取組を全国的に推進するため特徴的な取組事例の調査・分析と、その成果の発信。また、地域での自律的な保全再生を促進するため自然資源の管理・利活用方策や保全再生活動への多様な主体の参加手法について検討を実施。</p> <p><達成手段の目標> 保全活動の推進に資する効果的な情報発信と手法の構築に向けた検討の実施</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 保全活動を進めるために有効な取組事例や技術方策等の発信により、地域の活動の継続・促進が図られるとともに、里地里山の自然資源の有効活用手法や多様な主体の参加を得るための社会システムを構築することにより、地域での自立的な里地里山の保全再生を図ることができるため。</p>					

(5)	特定地域自然林保全整備事業費(H4年度)	13 百万円 (12 百万円)	11 百万円 (11 百万円)	7 百万円	—	<p><達成手段の概要> 世界自然遺産地域等において、モニタリングのための機材や保全のための標識の整備・更新等を行う。</p> <p><達成手段の目標> 遺産地域等の基幹的施設の整備・更新(遺産地域等の適切な保全管理)</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> モニタリングのための機材や保全のための標識の整備・更新等を行うことにより、世界自然遺産地域等の適切な保全管理を実施することができ、これにより地域の特性に応じた生態系の保全、維持管理の一層の促進を図ることができるため。</p>
(6)	原始的な自然環境の危機対策事業(H22年度)	10 百万円 (10 百万円)	13 百万円 (15 百万円)	7 百万円	—	<p><達成手段の概要> 自然環境保全地域等について、危機状況を把握するための調査を実施する。また、調査結果を分析・評価した上で、必要な対策を検討・実施する。</p> <p><達成手段の目標> 自然環境保全地域等の危機状況の把握及び対策等の実施(自然環境保全地域等の適切な保全管理)</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 自然環境保全地域等の危機状況の把握及び対策等を実施することにより、当該地域の適切な保全管理を実施することができ、これにより自然資源の保全、生物多様性の保全の一層の促進を図ることができるため。</p>
(7)	国立・国定公園総点検事業費(H19年度)	36 百万円 (35 百万円)	33 百万円 (34 百万円)	32 百万円	3	<p><達成手段の概要> 国立公園の新規指定又は大規模拡張の候補地とされた地域について、公園計画の変更等に用いる資料を作成する。また、自然資源や公園利用に関するデータを収集する。</p> <p><達成手段の目標> 国立公園の再配置の推進</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 国立公園の新規指定又は大規模拡張の候補地における自然環境や公園利用に関するデータを収集することで、関係者の理解のもとで調整が進み、点検等の見直しが円滑に進む。</p>
(8)	海域の国立・国定公園保全管理強化事業費(H20年度)	95 百万円 (91 百万円)	96 百万円 (93 百万円)	81 百万円	3	<p><達成手段の概要> 現地調査、文献調査等により海域公園地区の新規指定候補地を抽出する。</p> <p><達成手段の目標> 海域公園地区の新規指定の推進</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 国立公園の海域について、特に干潟、藻場、サンゴ、岩礁域、沖合等に着目し、自然資源や公園利用に関するデータを収集することで、関係者の理解のもとで調整が進み、海域公園地区の新規指定等を内容とする点検等の見直しが円滑に進む。</p>
(9)	地域連携保全活動推進費(H24年度)	—	—	14 百万円	4	<p><達成手段の概要> 生物多様性保全のための活動を実施するための体制整備が不十分な地域等において、地域の特性に応じた活動を行うための情報充実や理解向上を図り、地域における地域連携保全活動協議会の設置に向けての気運醸成・支援を図る。また、地域連携保全活動の促進に資する情報を提供するホームページを作成する。</p> <p><達成手段の目標> 地域連携保全活動協議会の設立に向けた事業の実施(新たな地域連携保全活動協議会の設立)</p> <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 本達成手段を実施することにより、地域の多様な主体の連携が促進され、地域連携保全活動協議会の設置が進むとともに、協議会が策定する地域連携保全活動計画に基づいた事業の実施により、過去に失われた自然の再生をはじめ、地域の特性に応じた生物多様性の保全・維持管理に貢献する。</p>